

# 四季の自然に寄り添う住まい、 「京町家」に住もう。

## 高島屋スペースクリエイツ 建築家・坂田基禎の リフォームプラン

「京町家」のプロが設計し、  
高島屋スペースクリエイツが  
サポートします。

### 建築家 もとのり **坂田基禎** × **高島屋スペースクリエイツ**

京都の気候は、“夏は蒸し暑く、冬は底冷えするような寒さ”で知られ、  
真夏は窓を開けても風は通らず、断熱機能が施されていない古い住宅は、  
冬は室内でも白い息が見えるほどと言われます。

ご紹介する町家のリフォームは、京町家を知り尽くした

建築家・坂田基禎がプロデュースする〈京町家リフォームプラン〉。

“夏は涼しく、冬は暖かい”“一年を通して自然を感じられる”新しい京町家。

高島屋スペースクリエイツが、リフォームのサポートをいたします。

坂田基禎（さかたもとのり）

私は、京都に生まれ、子供の頃から京都の町の環境や空気を感じて育ちました。京町家の家づくりには、立地の特性を十分に生かした建築設計・デザインが必要です。格子戸、犬矢来、京間、坪庭……。継承された伝統を活かしながら、住みやすさ、快適さを追求する。そんなリフォームを、お客様とゆっくりお話をしながら、創り上げて行きたいと考えています。



## 京都伝統の知恵、文化を伝える「京町家」。 その先進的な機能とデザインのリフォーム。

美しい棧瓦の屋根、紅殻の出格子、季節を感じる坪庭……。いまも京都の町中に残る「町家」が登場したのは江戸前期のこと。町人経済が発展をとげた元禄期、京の家々はさらに広がり、華やかな「京町家」の町並景観が生まれました。町家はただ美しい風景を残しているばかりではなく、町家の連なりを通して、人と人、人と町の中に、町家文化を創りだしました。しかしこのような伝統的な町家も近年、ペン

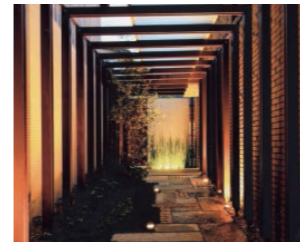
シル・ビルや煎餅のようなマンションなどに変わり、その姿を少しずつ失ないかけています。そこで、ぜひとも提案したいのが、京町家建築の匠とも呼ばれる坂田基禎氏が手がける新しい機能やデザインの町家リフォームです。本カタログでは、町家が町家である所以、そして伝統を生かしつつ新しい知恵を吹き込み生み出される町家リフォームの特長を取り上げ、快適な町家の魅力をご紹介します。

京町家の建築物は、いわゆる、うなぎの寝床と呼ばれる間口が狭く奥行の深い建物の中に、日々を快適に過ごすための様々な工夫が込められています。ここでは、そのいくつかを、ご紹介します。



### 格子

本来、格子は防犯とプライバシーを守るためにありました。街並みには重要な要素となっています。内部からは、外部の様子が感じとれますが、外からは内部が見えにくい構造。しかし、何とはなしに外と内との間に気配を感じられます。



### 煎栽

家と家との路地には、住人が通路に植木鉢などを並べて、ちょっとした花壇も続いています。言わばそこに住まう人と通行人との共有公開の緑の空間です。



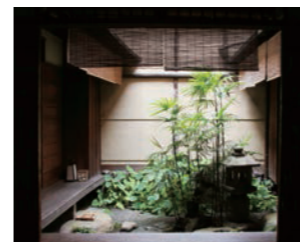
### 屋並み

「平入り」と呼ばれる軒先が連続して街並みにリズムを与えています。目深に被った帽子の様に、彫の深い外観が格子と相まっている、京町家の最大の特徴です。



### 通り庭 と火袋

通りから家の裏まで通じる通路。「台所（だいどころ）」と呼ばれる調理スペースに「おくどさん」が有ります。その煙出しのための吹き抜け空間がダイナミックな構造になっています。



### 坪庭

家の中間に設けられた小さな庭。これは採光、通風のための外部空間です。緑を植え、自然の息遣いを感じられる様な空間へと昇華させています。都会にあって春夏秋冬を感じることができる、小宇宙です。





露地

表通りに面しない家への導入路。そこは、半プライベート空間で子供達の遊び場であり、住民のコミュニティの場。



縁

床が外部に伸び内と外の中間的な空間。夏はここで夕涼み、秋は観月の場。



火袋・明り取り

通り庭には、台所の煙出しのための火袋があり同時に天窓や高窓を付け明り取りとする。天井が高く、子供には神秘的な空間。



町並と格子

間口の狭い京町屋は「平入り」と呼ばれる軒先が連続する町並が美しい。格子は内と外を柔らかく仕切るスクリーンでもある。



玄関

玄関は住まう人の顔でもある。格式張らずとも、人を迎える為の住まい手のセンスが光る場。



座敷・茶室

和室には庭が欠かせない。四季折々の庭を愛でながら、畳に座るのは日本の美意識のひとつ。



煎栽

通りや露地には、小さいながらも緑があり、人の目に優しい。また緑を育てる人の喜びの場である。



坪庭

「うなぎの寝床」と言われる長い建物の中央に光と風を送る空間。京町家はそこに自然を凝縮させて、一年を通して風景を楽しむ。



箱階段

2階に上るためだけのものではなく収納として機能させる。ただしあくまでも美しく。



梁と柱

無作為の自然の美しさ。敢えて構造を見せることで、空間に変化を。



つたいと坪庭

坪庭は露地やつたいと呼ばれる小路にもつながる。



## 建築作品を押し付けるつもりはありません。

住宅は、人生や生活観、将来の夢が形となってあらわれ、家族の絆を強め明日のために安心して休息でき、優しい気持ちで人を迎えることのできる場となって初めていい住まいだと思います。

## ディスカッションはたっぷり。

住まうのは私でも工事の人でもありません。住まいは住まい手のものです。住まい手の意見が反映されない住宅では意味がありません。ですから十分な打ち合せをします。

## 施主の意思で創る楽しい住宅建築を。

建築はそこに住まう人と立つ場所が決まっているわけですから、その人・場所に調和したデザインがあります。どれもこれもが同じスタイルではありません。住まい手の顔が全て違うように住まいのデザインも住まい手が心地よいもの、立地の特性を生かしたデザインであるべきだと思います。

建築家と一緒に住まいを建てるつもりであればきっといい住まいがつくることができるはずです。

でもご自分の住まいですから、人任せでは気に入ったものはできません。

それはちょっと大変なことではありますが、一番楽しいこと。なぜなら夢を形にするのですから。

	坂田 基禎
略歴	1954年 京都市生まれ 1973年 京都府立山城高校卒業 1979年 福井工業大学建設工学科卒業 1979年 AZ Institute 環境計画研究所入所 1985年 坂田基禎建築研究所開設、現在に至る
受賞歴	BSビルディング「第38回大阪建築コンクール」渡辺節賞 「東福寺の家」平成6年度 HOPE コンクール京都市長表彰 「茶碗坂の家」平成8年度 HOPE コンクール京都市長表彰 商環境デザイン賞等多数

## 高島屋スペースクリエイツが「建築家・坂田基禎」のリフォームをサポートします。

### ご契約から認定までの流れ

#### ご相談

1

まずは、ご相談ください。お会いしてお話をしましょう。漠然としたもので構いませんので、住まいに対するご要望、思いをすべてお聞かせください。

#### 基本設計

2

設計方針が定まりましたら基本プランを決めて行きましょう。パースや模型でわかりやすくご説明いたします。ここでも具体的なご意見・ご要望を出してください。そしてお客様の描く形にして行きましょう。

#### 実施設計

3

基本設計が固まりましたら、工事や見積のための詳細な図面を作成して行きます。細部の打ち合わせは引き続き行います。

#### 工事契約

4

見積を査定し、必要に応じて仕様を変更するなど工事金額の調整をした後、施工会社と工事契約を結びます。

#### 施工監理

5

図面通り現場が進んでいるか定期的に検査し、しっかり監理いたします。

#### 竣工

6

竣工検査を行います。施主様ご自身でも検査していただけます。最終確認後、いよいよお引き渡しです。住まわれてから不具合等がございましたら、遠慮なくご相談ください。

## インテリアステーションHOW'Sで承ります。

ご相談承り

日本橋店 8階 TEL(03)3211-4111  
大阪店 7階 TEL(06)6631-1101

横浜店 7階 TEL(045)311-5111  
玉川店 5階 TEL(03)3709-3111

新宿店 10階 TEL(03)5361-1111  
京都店 6階 TEL(075)221-8811